

令和3年度使用中学校用教科書

# 選 定 資 料

数 学 編

令 和 2 年 6 月

愛 知 県 教 育 委 員 会

## 数 学

### 教科書選定の基本的な考え方

#### ○ 学習指導要領の目標で示された資質・能力の育成を図ることができること

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

#### ○ あいちの教育の基本理念に照らして適切な事項が示されていること

「自ら高めること」と「社会に役立つこと」を基本的視点とした「あいちの人間像」の実現  
(「あいちの教育ビジョン2020」より)

## 選定資料（数学）作成の観点・着眼点

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領との 関連	ア 教育基本法、学校教育法に則った学習指導要領の趣旨を踏まえ、効果的に編集されているか。
2 「あいちの教育の 基本理念」との関連	ア あいちの教育ビジョン2020に掲げられた「あいちの教育の基本理念」に資する特色が見られるか。
3 内 容 等	(1) 内容の選択 ア 数学的な概念・原理・法則の理解のための工夫がされているか。 イ 数学的な見方・考え方を働かせた学習活動を通して、資質・能力を育成するために、内容の選択は適切であるか。 ウ 生徒の学びに向かう力を高め、主体的に学習に取り組めるよう、内容の選択は適切であるか。 エ 数学的活動の充実に向けて、配慮されているか。
	(2) 内容の程度 ア 基礎的・基本的な学習内容の定着を図るために工夫されているか。 イ 補充的な学習や発展的な学習の内容の程度は適切であるか。 ウ 実生活・実社会に関連付けられるような記述や題材が工夫されているか。
	(3) 内容の構成 ア 導入・説明文・例題・問題等の配列や関連付けが適切であるか。 イ 各領域及び各学年の分量は適切に配分されているか。 ウ 補充的な学習や発展的な学習の内容について、配列や分量は適切であるか。
4 表記・表現及び 使用上の便宜等	ア 用語・記号の指導に工夫がされているか。 イ 単元や章の展開・項目・資料等が利用しやすく工夫されているか。 ウ 生徒の学びに向かう力を高めるよう、適切に表記・表現されているか。 エ 本文記述と挿絵・イラスト・写真・図表等が適切に関連付けられているか。
5 印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、書体、色彩等は適切であるか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領との 関連	ア 教育基本法、学校教育法に則った学習指導要領の趣旨を踏まえ、効果的に編集されているか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特徴・長所等
2 東 書	<p>ア 学習課題を明確に示し、既習内容を生かして、考えたり調べたりする活動を設定することで、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう編集されている。</p> <p>ア 問題解決の過程を意識した活動を多く設定し、統合的、発展的に考えるきっかけを示すことで、思考力・判断力・表現力等が高められるよう編集されている。</p> <p>ア 問題解決で働かせた数学的な見方・考え方を振り返ったり、実社会とのつながりを伝えたりする場を設定し、数学の楽しさや有用性が感じられるよう編集されている。</p>
4 大 日 本	<p>ア 既習事項の学び直しや、個に応じて学習の定着が図れる問題を多く設定することで、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう編集されている。</p> <p>ア 問題発見・問題解決の流れを示し、様々な適用問題を設定することで、思考力・判断力・表現力等が高められるよう編集されている。</p> <p>ア 自らが問題や疑問を見いだす場を設けたり、数学の歴史や身近な事象との関係を掲載したりすることで、数学の楽しさや有用性が感じられるよう編集されている。</p>
11 学 図	<p>ア 誤りやすい箇所を発見させる問題を設定したり、既習事項の学び直しを行ったりすることで、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう編集されている。</p> <p>ア 論理的に思考したり、問題文から必要な情報を取捨選択したりする課題を設定することで、思考力・判断力・表現力等が高められるよう編集されている。</p> <p>ア 既習事項を振り返り、その学びが今後の生活にどのように活用できるかを考察する場を設けることで、数学の楽しさや有用性が感じられるよう編集されている。</p>

17 教 出	<p>ア 既習内容を振り返ったり、つまづきが多く見られる問題を設定したりすることで、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう編集されている。</p> <p>ア 筋道を立てて説明したり、多様な考えを伝え合ったりする活動を設定することで、思考力・判断力・表現力等を高められるよう編集されている。</p> <p>ア 数学が生活に生かされていることを実感できる問題や学習感想を書かせる場を設けることで、数学の楽しさや有用性が感じられるよう編集されている。</p>
61 啓 林 館	<p>ア 反復練習によって習得・定着が図れる問題を充実させ、理解を深められる場を設定することで、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう編集されている。</p> <p>ア 多様な考えに触れ、理解を深める場や筋道を立てて説明する場を設定することで、思考力・判断力・表現力等を高められるよう編集されている。</p> <p>ア 学習してきた内容を利用して、身の回りの問題を見だし、解決していく学習過程を設定することで、数学の楽しさや有用性が感じられるよう編集されている。</p>
104 数 研	<p>ア 既習事項の振り返りや、個に応じた学習内容の定着を図る問題を多く設定することで、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう編集されている。</p> <p>ア 知識・技能を活用する場や学びを発展させる場を豊富に設定することで、思考力・判断力・表現力等を高められるよう編集されている。</p> <p>ア 学んだ内容を活用する機会を設けたり、多様な考えを出し合いながら解決を目指す活動を行ったりすることで、数学の楽しさや有用性が感じられるよう編集されている。</p>
116 日 文	<p>ア 典型的な誤答例を示したり、既習事項の学び直しの場を設定したりすることで、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう編集されている。</p> <p>ア 既習内容を活用し、話合いや考えを深める場を多く設定することで、思考力・判断力・表現力等を高められるよう編集されている。</p> <p>ア 既習事項を他の場面で活用したり、実在する資料やデータを使った教材を取り上げたりすることで、数学の楽しさや有用性が感じられるよう編集されている。</p>

観 点	着 眼 点
2 「あいちの教育の基本理念」との関連	ア あいちの教育ビジョン2020に掲げられた「あいちの教育の基本理念」に資する特色が見られるか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	<p>ア 防災や安全、人権、多様性の尊重などの現代的な課題を取り上げることで、数学を日常生活に活用し、社会に生かせるよう工夫している。</p> <p>ア 学び方を習得する場や、学びのつながりを重視した題材を設定することで、自ら学びを進め、高められるよう工夫している。</p>
4 大 日 本	<p>ア 現代社会における課題を題材として取り上げるなど、学習した内容と日常生活との関連を図り、社会に生かせるよう工夫されている。</p> <p>ア 友達と考えを比較し、よいところを見付けたり、互いに改善点を提案したりすることで、自他ともに学びを高めることができるよう工夫している。</p>
11 学 図	<p>ア 様々な生活場面や職業とのつながりが実感できる事象を取り上げ、数学と関連付けて学び、役立てていけるよう工夫されている。</p> <p>ア 身近で興味のもてる題材や学習内容をさらに発展させた問題を数多く取り上げ、自ら学びを高めていけるよう工夫している。</p>

17 教 出	<p>ア 数学の有用性が感じられるような話題を取り上げ、学んだことを社会や生活に生かしていこうとする力を育めるよう工夫している。</p> <p>ア 小学校や高等学校とのつながりや他教科との関連を示し、多様な見方をもって視野を広げながら、自ら学び、高めていけるよう工夫されている。</p>
61 啓 林 館	<p>ア 話し合い活動を大切にし、友達の考えのよさに気付くことで、自分の考えを深められるよう工夫している。</p> <p>ア 日常生活にある場面が多く設定されており、興味・関心をもって自ら学びを進め、解決に導くよう工夫されている。</p>
104 数 研	<p>ア 学びから発生する疑問や日々の生活の中にある数学に着目した題材を取り上げ、日常生活や社会への生かし方を学べるよう工夫されている。</p> <p>ア 学んだ内容を活用する機会が豊富にあり、多様な考えを出し合いながら、学び続けることができるよう工夫されている。</p>
116 日 文	<p>ア 巻末にある「対話シート」を活用し、話し合いの場や友達と問題解決していく場を設けることで、自他を認め合う学びができるよう工夫している。</p> <p>ア 日常生活や社会と関連する話題を提示することで、多様な見方で数学を生かしたり、役立てたりすることができるよう工夫している。</p>

観 点	着 眼 点
3 内容等 (1) 内容の選択	<p>ア 数学的な概念・原理・法則の理解のための工夫がされているか。</p> <p>イ 数学的な見方・考え方を働かせた学習活動を通して、資質・能力を育成するために、内容の選択は適切であるか。</p> <p>ウ 生徒の学びに向かう力を高め、主体的に学習に取り組めるよう、内容の選択は適切であるか。</p> <p>エ 数学的活動の充実に向けて、配慮されているか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	<p>ア キャラクターのセリフやつぶやきで学習のポイントや見通しをもたせ、数学的な概念・原理・法則を理解する工夫がされている。</p> <p>イ 「深い学びのページ」で解決の過程を示し、問題解決の進め方を意識して取り組み、数学的な見方・考え方を進んで活用するよう工夫されている。</p> <p>ウ ストーリー性のある単元構成にして、身に付けた知識や技能を生かして発展させていくことで、学びに向かう力が高められるよう工夫している。</p> <p>エ 疑問から次の学習へとつながるような節の導入や、「深い学びのページ」で問題解決的活動を取り入れるなど、随所に学習を深められるよう配慮されている。</p>
4 大 日 本	<p>ア 文字入りのマークや色囲い枠でポイントを強調するなど、構成を分かりやすくすることで、数学的な概念・原理・法則を理解する工夫をしている。</p> <p>イ 「学びのふり返し」や「学びにプラス」で、学習の振り返りや、活用できる場を設定し、数学的な見方・考え方を働かせることのよさを味わえるよう工夫されている。</p> <p>ウ 各章の導入で既習事項と関連した課題を設定することで学習意欲を高め、主体的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>エ 巻頭から丁寧に説明し、項の導入には、「考えよう」を設け、主体的に学習に向かうことができる数学的活動が充実するよう配慮されている。</p>
11 学 図	<p>ア 新しい学習内容の目標から、「Q」の問題解決、「次の課題へ！」と学習内容のつながりが意識され、数学的な概念・原理・法則を理解する工夫がされている。</p> <p>イ 章末に「深めよう」や「活用」など、身近な事象を発展的な学習の問題として取り上げ、数学的な見方・考え方を働かせることのよさを味わえるよう工夫されている。</p> <p>ウ 章の導入で自ら問題を発見する場を設定することで学習の見通しをもたせ、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>エ 「数学的活動のページ」が設けられており、問題解決に至るまでの学習過程が示され、対話を通して学習を深めていけるよう配慮されている。</p>

17 教 出	<p>ア 章の始まりや終わり、本文中の側注等で関連する既習事項を確認できるようになっており、数学的な概念・原理・法則を理解する工夫がされている。</p> <p>イ 巻頭や折り込み、本文中の側注に、そこで働かせるべき数学的な見方・考え方を明示することで、資質・能力を育成することができるよう工夫している。</p> <p>ウ 単元の導入の「Let's Try」では、興味・関心を高めるような身近な題材を取り上げ、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>エ 問題解決の一連の過程を体験できるページや、数学的活動を行える課題を取り上げ、自立的、協働的に学習を進め、深めていけるよう配慮されている。</p>
61 啓 林 館	<p>ア 色囲い枠で強調した既習事項を押さえるとともに、計算をしたり、図や表から考察したりするなど、数学的な概念・原理・法則を理解する工夫がされている。</p> <p>イ 「話しあおう」では、働かせるべき数学的な見方・考え方を記載して、身の回りの課題を解決するよう工夫されている。</p> <p>ウ 「自分から学ぼう」や「学びのあしあと」では、進んで学習に取り組んだり、学びの過程を振り返って学び直したりすることができるよう工夫されている。</p> <p>エ それぞれの単元の「利用場面」は、説明や話し合い、まとめて展開され、言語活動も含めた数学的活動を取り入れるよう配慮されている。</p>
104 数 研	<p>ア 色囲い枠や吹き出しを使って、既習事項や解決に至る手順を明示し、数学的な概念・原理・法則を理解する工夫がされている。</p> <p>イ 別冊「探究ノート」や巻末「チャレンジ編」に数学的な見方・考え方を働かせる題材を設定し、資質・能力を育むよう工夫されている。</p> <p>ウ 学びに向かう力を高めるために、各章の前に「ふりかえり」を設定し、必要に応じて学び直しや既習事項の確認ができるよう工夫されている。</p> <p>エ キャラクターたちが現実感のある対話で説明したり、考えを伝えたりする言語活動が示されており、数学的活動が充実するよう配慮されている。</p>
116 日 文	<p>ア 既習事項の確認を行い、吹き出しやノート枠を用いて考え方の例を示し、穴埋め式にして、数学的な概念・原理・法則を理解する工夫がされている。</p> <p>イ 「学び合おう」では、働かせるべき数学的な見方・考え方を具体的に示しながら、身の回りの問題や応用問題を提示するなどの工夫がされている。</p> <p>ウ 見通しや振り返りなど、学び方のポイントを示したり、既習内容を活用して解決できる問題を紹介したりして、主体的に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>エ 「学び合おう」では、身近な事柄を題材にして、発表する場面や話し合う場面が多く設定されており、自分の考えをより深められるよう配慮されている。</p>

観 点	着 眼 点
3 内容等 (2) 内容の程度	ア 基礎的・基本的な学習内容の定着を図るために工夫されているか。 イ 補充的な学習や発展的な学習の内容の程度は適切であるか。 ウ 実生活・実社会に関連付けられるような記述や題材が工夫されているか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	ア 「例」と似た問題をマークで示し、つまずきに対応できるよう補充問題を充実させ、学習内容の定着を図れるよう工夫されている。 イ 節末の「基本の問題」や章末の表現力や思考力を高められる「活用の問題」を設定するなど、主体的に取り組めるよう工夫されている。 ウ 章末の「活用の問題」や「学びをひろげよう」で、日常生活や実社会と関連する身の回りにある題材を取り上げるよう工夫されている。
4 大 日 本	ア 節末・章末・巻末に問題を多く設定し、繰り返し練習することで基礎的・基本的な学習内容の定着を図れるよう工夫されている。 イ 側注に「プラスワン」等の補充問題を準備し、発展問題の「学びにプラス」を各章に取り入れ、主体的に取り組めるよう工夫されている。 ウ 章末の「社会にリンク」で、学習内容と実社会の関連について記述されており、身近な問題として扱えるよう工夫されている。
11 学 図	ア 節末の「確かめよう」で基礎的・基本的な問題を設け、学習したページが示されており、学習内容の定着を図れるよう工夫されている。 イ 章末問題を基本・応用・活用に分けて出題したり、発展的な学習を提示したりするなど、個に応じて取り組めるよう工夫されている。 ウ 「数学の力」「役立つ数学」等、数学を活用している事象が掲載されており、日常生活や実社会とのつながりを実感できるよう工夫されている。

17 教 出	<p>ア 側注の「もどって確認」や節ごとの「基本の問題」、章末の「学習のまとめ」等、振り返りながら学習内容の定着が図れるよう工夫されている。</p> <p>イ 章末や巻末に適切な内容の補充問題や発展的な問題を準備し、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>ウ 導入の題材や本文中の問題、「数学の広場」等、日常生活や実社会と関連する事柄を取り上げるよう工夫されている。</p>
61 啓 林 館	<p>ア 「例題」では、計算や式の変形が丁寧に記述してあり、章末では基礎的・基本的な問題を用意し、繰り返し復習ができるよう工夫されている。</p> <p>イ 巻末の「もっと練習しよう」「力をつけよう」で、補充問題や発展的な学習内容に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>ウ 単元の導入や「数学ライブラリー」等で、身の回りの題材を取り上げ、実社会とのつながりを実感できるよう工夫されている。</p>
104 数 研	<p>ア 「例」「問」の順に構成することで、解答例を確認しながら、基礎的・基本的な学習内容の定着が図れるよう工夫している。</p> <p>イ 章末に補充問題を準備したり、巻末や別冊に発展問題を取り入れたりするなど、個に応じて取り組めるよう工夫されている。</p> <p>ウ 導入の題材や本文中のコラム、巻末の課題の中で、日常生活や社会、他教科と関連のある課題を取り入れるよう工夫されている。</p>
116 日 文	<p>ア 学習の前に既習事項の学び直しを行い、吹き出しやノート枠で考え方を確認しながら、基礎的・基本的な学習内容の定着が図れるよう工夫されている。</p> <p>イ 側注の補充問題や章末の説明問題といった個に合わせた多様な問題を用意し、主体的に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>ウ 巻末の「数学のたんけん」や「数学マイトライ」で、社会における数学の役割について記述があり、身近な問題として捉えることができるよう工夫されている。</p>

観 点	着 眼 点
3 内容等 (3) 内容の構成	ア 導入・説明文・例題・問題等の配列や関連付けが適切であるか。 イ 各領域及び各学年の分量は適切に配分されているか。 ウ 補充的な学習や発展的な学習の内容について、配列や分量は適切であるか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	ア 考える過程を大切にしながら、疑問が学びにつながるような構成にし、段階的に学習が定着できる配列の工夫がされている。 イ 繰り返し練習ができる機会を確保し、学習内容の習熟が図れるよう工夫されている。 ウ 「活用の問題」「大切にしたい見方・考え方」を掲載し、個に応じて補充的な学習や発展的な学習に取り組めるよう工夫されている。
4 大 日 本	ア 章の導入問題で数学的活動を取り入れ、例題や問題で学習する内容を明確にし、学習のつながりを実感できる配列の工夫がされている。 イ 反復練習により学習内容の習熟を図ることができるよう工夫されている。 ウ 巻末に「補充問題」「課題学習」「MATHFUL」を掲載し、個に応じて補充的な学習や発展的な学習が進められるよう工夫されている。
11 学 図	ア 例題や解説だけでなく、数学的な見方・考え方の補説、既習内容の確認などが丁寧に記述してあり、きめ細やかな対応ができるよう工夫されている。 イ 反復練習の機会を確保し、学習内容の定着を図ることができるよう工夫されている。 ウ 「計算力を高めよう」や「Tea Break」、章末の「深めよう」で補充的な学習や発展的な学習が行えるよう工夫されている。

17 教 出	<p>ア 例題と問題の間に「たしかめ」を設けたり、誤答例を取り上げたりするなど、つながりを意識させ、つまずきに対応できるよう工夫されている。</p> <p>イ 反復練習や学び直しの機会を確保し、学習内容が定着するよう工夫されている。</p> <p>ウ 章末や巻末に繰り返し取り組める補充的な問題や発展的な学習を掲載し、個に応じて学習が進められるよう工夫されている。</p>
61 啓 林 館	<p>ア 導入、説明、例題、問題の順に課題解決に取り組み、学習内容を段階的に習得するよう工夫されている。</p> <p>イ 練習問題を十分に確保し、学習内容が定着するよう工夫されている。</p> <p>ウ 巻末の「もっと練習しよう」や「自分から学ぼう」など、補充的な学習や発展的な学習を掲載し、主体的に学習が進められるよう工夫されている。</p>
104 数 研	<p>ア 例題とその解説を丁寧に示し、例に汎用性をもたせ、「例」と「問」の間につまずきが出ないように工夫されている。</p> <p>イ 繰り返し練習できる機会を確保し、学習内容が定着するよう工夫されている。</p> <p>ウ 補充的な問題を難易度別に分けたり、発展的な問題を扱う「やってみよう」を掲載したりして、個に応じて学習が取り組めるよう工夫されている。</p>
116 日 文	<p>ア 「めあて」に沿って説明、例題、問題と関連付けて学習することで、見通しをもって取り組めるよう工夫されている。</p> <p>イ 練習問題が多く掲載されており、学習内容が定着するよう工夫されている。</p> <p>ウ 巻末に「補充問題」や「ステップアップ」が掲載されており、補充的な学習から発展的な学習まで個に応じて学べるよう工夫されている。</p>

観 点	着 眼 点
4 表記・表現及び使用上の便宜等	<p>ア 用語・記号の指導に工夫がされているか。</p> <p>イ 単元や章の展開・項目・資料等が利用しやすく工夫されているか。</p> <p>ウ 生徒の学びに向かう力を高めるよう、適切に表記・表現されているか。</p> <p>エ 本文記述と挿絵・イラスト・写真・図表等が適切に関連付けられているか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	<p>ア 用語や記号を理解する手助けとなるように、具体例を挙げたり、振り仮名を付けたりするよう工夫されている。</p> <p>イ 既習事項の学習の振り返りのため、「ちょっと確認」が適宜掲載され、数学的活動の課題や資料が細かく配置されている。</p> <p>ウ 学習した内容の考え方を確認する「学びをふり返ろう」で、数学のよさを実感でき、関心・意欲を高める表記がされている。</p> <p>エ 課題解決に必要な思考の過程が分かりやすく伝わるように、挿絵や図・表が工夫されている。</p>
4 大 日 本	<p>ア 用語や記号の近くに図や写真だけでなく、説明を補足する内容が書かれており、理解しやすいよう工夫されている。</p> <p>イ 領域ごとの振り返りが適宜書き込めたり、既習事項の記載ページを示したりして、利用しやすくなるよう工夫されている。</p> <p>ウ 巻末に身近な事象と数学との関連を取り上げた「MATHFUL」で、数学と実社会とのつながりを感じる表記がされている。</p> <p>エ 単元への興味・関心を高めたり、学習場面を分かりやすくしたりするために写真や挿絵が工夫されている。</p>
11 学 図	<p>ア 新出の記号は読み方を明記するとともに、「用語・記号の由来」のコラムを取り上げ、理解しやすいよう工夫されている。</p> <p>イ 領域ごとに「ふりかえり」が設定されており、既習事項を確認しながら新たな学習に入ることができるよう工夫されている。</p> <p>ウ 章の最後にできるようになったことや、さらに学んでみたいことを自分の言葉で振り返りができるよう工夫されている。</p> <p>エ 写真や図、イラストは、興味・関心を高めるとともに、学習内容の理解の手助けとなるよう工夫されている。</p>

17 教 出	<p>ア 新出用語は振り仮名を付けて太字で表記しており、記号はその読み方を示すなど、理解しやすいよう工夫されている。</p> <p>イ 本文中の側注に補足説明を載せたり、練習問題の関連ページを示したりするなど利用しやすくなるよう工夫されている。</p> <p>ウ 章のとびらのページや「数学の広場」で数学の有用性について触れ、興味・関心を引き出すよう工夫されている。</p> <p>エ 本文記述の内容が具体的にイメージしやすいように、写真や挿絵、表等が適切に取り入れられている。</p>
61 啓 林 館	<p>ア 用語や記号には太字や振り仮名、手書き調の囲み枠を用いるなど、理解しやすいよう工夫されている。</p> <p>イ 「学習のとびら」から「利用の場面」の流れで統一されており、小見出しを利用して課題を提示するなど工夫されている。</p> <p>ウ 巻末には、進んで学習に取り組めるように「セルフチェックシート」を掲載し、個に応じて学習しやすいよう工夫されている。</p> <p>エ 作図では、記述と作図方法を図で示すとともに、動きを二次元コードで読み取って視聴するなど工夫されている。</p>
104 数 研	<p>ア 用語等は振り仮名を付けたり、太字・下線・枠囲いを使用したりするなど、視覚的に捉えやすくなる配慮がされている。</p> <p>イ 主体的な学びの進め方を紹介し、学びの主たる目標をマークで示し、学習の見通しがもてるよう工夫されている。</p> <p>ウ 単元ごとの理解度が確認できる問題や巻末に付録があり、それぞれの発達段階に配慮をするよう工夫されている。</p> <p>エ 学習内容が視覚的に理解しやすくなるように、興味を引く図や写真を豊富に取り上げるなど工夫されている。</p>
116 日 文	<p>ア 用語や記号には異なる書体や太字を用いて、近くに補足が書かれており、理解しやすいよう工夫されている。</p> <p>イ 「次の章を学ぶ前に」で既習事項を確認し、問題や説明には、図や表、イラストで補足するなど工夫されている。</p> <p>ウ 「学び合おう」で学習活動を表記したり、「次の課題」を記載したりして、主体的に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>エ キャラクターが吹き出しで考え方を述べたり、「WEBマーク」を記載し、動画を視聴したりできるなど工夫されている。</p>

観 点	着 眼 点
5 印刷・造本等	<p>ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、書体、色彩等は適切であるか。</p> <p>イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。</p> <p>ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	<p>ア 淡い色彩を基調とし、字体や文字の大きさを効果的に変えるなど、視覚的にも見やすく鮮明である。</p> <p>イ 色数を減らしたり、小さい文字にはユニバーサルデザインフォントを採用したりするなど、視認性を高める工夫が図られている。</p> <p>ウ 読みやすい位置で改行されており、行間が広く、造本も堅ろうである。</p>
4 大 日 本	<p>ア 使用する文字の大きさを1年と2、3年で変えたり、強調文字が効果的に使われたりするなど、鮮明度も適切である。</p> <p>イ 色覚の違いによって学習に支障が出ることがないように色使いを工夫し、分かりやすい紙面となっている。</p> <p>ウ レイアウトや余白、文章の改行位置を工夫し、造本も堅ろうである。</p>
11 学 図	<p>ア 見やすく読みやすい文字の大きさ、字間、行間に設定されており、印刷は鮮明で適切である。</p> <p>イ 重要事項に背景色を付けたり、色だけでなく、形で判別できたりするように配慮されている。</p> <p>ウ 全体的にゆとりのあるレイアウトで見やすく、造本も堅ろうである。</p>

17 教 出	<p>ア 文字の大きさ、書体、行間は適切であり、問題解決の過程が分かるように色が効果的に使用されている。</p> <p>イ 色を変えるだけでなく、色の濃さや図の形状を変えるなどして判別できるように配慮されている。</p> <p>ウ 側注を活用して紙面を有効に利用されており、造本も堅ろうである。</p>
61 啓 林 館	<p>ア 目に優しい自然色を主体とした色彩で、重要な用語は強調文字で効果的に表現され、鮮明度も適切である。</p> <p>イ ユニバーサルデザインフォントや意味改行を取り入れ、文章の内容を理解しやすくなるような配慮がされている。</p> <p>ウ 行間や余白を適切にとってあり、書き込みやすい紙質で、造本も堅ろうである。</p>
104 数 研	<p>ア 文字は大きめのサイズで、配色は色覚の特性によらず識別しやすく、鮮明度も適切である。</p> <p>イ 見分けやすい色使いで、奇数ページにツメ見出しをつけてあり、ページの検索性が高くなるよう配慮されている。</p> <p>ウ グラフや図をかく問題では、書き込みやすい配慮があり、造本も堅ろうである。</p>
116 日 文	<p>ア 強調文字の書体を変えたり、水色・桃色・黄色等の目に優しい色を用いたりして、鮮明度も適切である。</p> <p>イ ユニバーサルデザインフォントを採用したり、異なる色を用いたりして、視覚的に比較や区別ができるように配慮されている。</p> <p>ウ 行間や余白を適切にとってあり、書き込みやすい紙質で、造本も堅ろうである。</p>

発行者・書名一覧

発行者の番号・略称	発 行 者	書 名
2 東書	東京書籍株式会社	新しい数学1、2、3
4 大日本	大日本図書株式会社	数学の世界1、2、3
11 学図	学校図書株式会社	中学校数学1、2、3
17 教出	教育出版株式会社	中学数学1、2、3
61 啓林館	株式会社 新興出版社啓林館	未来へひろがる数学1、2、3
104 数研	数研出版株式会社	日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる これからの数学1、2、3  見方・考え方がはたらき、問題解決のチカラが高まる これからの数学1、2、3 探求ノート
116 日文	日本文教出版株式会社	中学数学1、2、3